

今日の勉強をする前に、テキストの1ページからそれまでに学んだページまでを、  
毎回読み直そう

開倫塾

塾長 林明夫

Q 1 : 今日の勉強を始める前に、したほうがよいことは何ですか。

A : 素晴らしい質問ですね。今日の勉強の前にしたほうがよいことは、テキストの 1 ページからそれまでに学んだページまでを、毎回もう一度読み直すことです。



Q 2 : 具体的には、どうすればいいのですか。

A : (1) 例えば、今日、ある教科のテキストの 25 ページから勉強する場合はどうするか。その勉強を始める前に、それまでに学んだ 1 ページから 24 ページまでを読み直すことです。  
(2) 今日、テキストの 25 ページから 29 ページまでを勉強したら、明日はどうするか。テキストの 30 ページから勉強する前に、1 ページから 29 ページまでを必ず読み直すことです。

Q 3 : なぜ、そのようなことをするのですか。時間ばかりかかり、勉強が先に進まないのではありませんか。

A : (1) 新しいことを学ぶときには、今までに学んだことがよくわかり、身に着いていたほうがよいと考えるからです。  
(2) そのために一番よい方法は、テキストの 1 ページから前回学んだページまでを読み直すことです。  
(3) テキストの 1 ページから前回学んだページまでを、毎回読み直していると、テキストの内容がだんだんわかるようになり、親しみも湧（わ）いてきます。また、読み直すスピードもどんどん速くなります。

Q 4 : 学校の授業の前にもできそうですね。

A : (1) その通りです。学校の授業の前には、必ず、教科書の 1 ページから前回学んだページまでを、毎回読み直してください。  
(2) きっと、その日の授業が、それまでよりもぐんとわかるようになりますよ。  
(3) 前回までに学んだことがよくわかり、よく身に着いていると、今回新しく学ぶことがよくわかるからです。



Q 5 : 受験勉強で用いる受験参考書やまとめ教材を学ぶときも、1 ページから前回学んだページまでを、毎回読み直したほうがよいのですか。

- A : (1) はい。受験参考書やまとめ教材は、スミからスミまで完全に「理解」し、すべて「身に着ける」「定着させる」ことが大切です。  
(2) そのために一番有効で、確実な方法は、1 ページから前回学んだページまでを毎回読み直してから、その日に学ぶべきページからの勉強を開始することです。  
(3) 「受験勉強は、回数」です。受験参考書やまとめ教材を何回「学び直す」かで、合否が決まります。

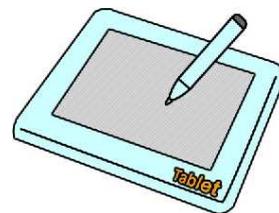


Q 6 : 毎回、1 ページから前回学んだページまで読み直しを続けるとどうなりますか。

- A : (1) 1 冊のテキストや教科書、受験参考書、まとめ教材を、1 ~ 2 時間で読み終えることができるようになります。  
(2) どのページのどの辺りに何が書いてあるかまで、すべて頭に入ります。スミからスミまでの「理解」「定着」が可能となります。  
(3) ですから、定期試験や入学試験などで高得点が期待できます。

Q 7 : 最後に一言どうぞ。

- A : (1) 学校の授業ノートや過去問を解いたノート、まとめノート、間違いノートなど、自分で作った「ノート」も、1 ページから最後のページまで繰り返し「読み直し」をすることをお勧めします。  
(2) 意味調べノートや単語カードも、1 ページ・1 枚目から最後まで繰り返し「読み直し」をすると、「ことばの数」をどんどん増やし、「語彙力」をどんどん高めることができます。  
(3) さらに言えば、少し難しめの本を読む場合、つまり、古典などの「読書」をする際も、1 ページからの「読み直し」は役立ちます。「スマホ」「タブレット」「パソコン」の解説書を読むときも、1 ページからの「読み直し」はとても役立ちます。  
ぜひ、試してみてください。



\*これは、高校・大学・大学院でも、また、社会に出てからも役立つ勉強の仕方、本の読み方です。一生にわたって役立つ勉強の仕方、本の読み方と確信します。開倫塾の塾生である間に、少しでも身に付けてくださいね。

2018年8月30日(木) 8時53分

